



2026夏 八千代子どもサミット

みとめあい～つなげよう心 伝えようおもい～

8月5日に市内小・中・義務教育学校の代表者が参加する「2026夏八千代子どもサミット」が開催されました。19回目の今回は「みとめあい」を全体のテーマに、人とのつながりの大切さを伝え合いました。このテーマは、市内全中学校・義務教育学校後期課程の代表生徒が話し合い決めたもので、一人ひとりの「伝えたい」思いを大切に、人とのつながりを育み、未来へつなげるサミットとなりました。

八千代子どもサミットとは

未来を担う児童生徒が地域の問題や将来などについて考え、地域の一員としての自覚と認識を深めるとともに、市内すべての小・中・義務教育学校が連携して、地域に主体的に参画することを目的として開催しています。



のやこれから誰かへ届けていきたいことを語り合いました。



サミットの内容と当日の取組

市は9年1月1日に市制施行60周年という大きな節目を迎えます。今回は「ぼくたちから迎えにいこう-Kids go first-」を合言葉に、60周年に向けた市全体の取り組みに先駆けて、子どもたちが八千代の未来や、自分の住む地域への思いを語り合いました。

各学校の取組紹介

学校内や地域の人と一緒に「人や地域のためにできること」の取組事例を発表しました。『もったいない』でつなごう！知ろう！未来へのバトン』『難民の人たちに服と笑顔を』など、児童会や生徒会などを中心に取組んでいる事例について、校内や地域の実態に応じて工夫を凝らして発表しました。他校の取り組みの良さに触れ、自校の活動を広げ深めるヒントを得ることができました。

異校種ディスカッション

代表者は住む地区ごとに分かれ、事前にアンケートした「八千代の良さ」や「八千代にこれから残していきたいもの」をもとに、高校生を交えて、地域への思いを話し合いました。年代や通学する学校が異なる代表者同士が、互いの意見に気づきを得たり共感したりしていました。また、高校生の中には、過



去に八千代子どもサミットで活躍した先輩も多数参加し、さまざまな立場の意見をまとめる助けをしていました。



<参加した児童・生徒の感想>

- ・サミットの先輩も来てくれて、いつまでもつながっていることが嬉しいです。私ももっと八千代のためにできることを考えてみたいです。
- ・八千代市には、世代を超えてみんなが集まり、話し合う機会がある。素晴らしい場所だなと感じました。(市外出身の高校生)

全体ディスカッション

小・中学生に話し合いのテーマを募集し、「不登校を経験した中学生」と「外国にルーツを持つ中学生」の2人が基調提案をしました。不登校を経験したことで周りの人への感謝に気付いたという話や、日本の文化に触れて、いつか自国との懸け橋になりたいという話を聞き、「みとめあい」とは何かを考えました。その後全員で、1日を通した活動で考えたこと、互いの気づき、自分が受け取ってきたも



<参加した児童・生徒の感想>

- ・1日の話し合いを通して、地域の人とは与えられるだけではなく、つながっていく関係でいたいと思います。私も地域の1人としてできることを考え続けたいです。
- ・中学3年生の私は、ここでサミット委員を引退ですが、必ずまたこの場所に戻ってきたいと思っています。私の夢は、もっとこの子どもサミットを世界へと広げていくことです。今日、出会ってくれた仲間感謝の気持ちでいっぱいです。

最後に

正解のない問題の答えを対話により深めることは、次世代を担う子どもたちにとって必要な力の一つです。これからも、八千代子どもサミットを通じて、ふるさとを愛し、地域と共に生きる、優しい心を持った子どもたちを育てていきます。



【ご協力ありがとうございました】

市内の高校生・大学生にも参加いただきました。秀明八千代高等学校、秀明大学、千葉英和高等学校、八千代高等学校、八千代松陰高等学校、八千代西高等学校、八千代東高等学校（50音順）

お問い合わせは
指導課 ☎481-0301へ

広告

広告